

# マリン通信 9月号

## 三津田店

みなさんこんにちは！三津田店の瀧口です。今回は7月の**西日本豪雨災害**で実際に体験したことを少し長いのですが書かせていただきます。

7月6日(金)あの日は午前中から私用のため車で広島市内に行っていました。18時前に用事も終わり、さあ家に帰ろうかと広島駅近くを出発した直後、今までに経験したことのない大雨が降り始めました。車のワイパーを最速にしても前が見えないほどでしたが、暫くするとすぐに雨は落ち着いてきました。その影響か道路は大渋滞！仕事帰りの時間帯だし、広島市内だから渋滞は仕方ないかと思い『ラジオで野球中継を聴きながらゆっくり帰ればいいか』と気楽に考えていました。

国道2号線が動かないので、宇品を回って仁保の呉道路入口へ向かっていましたが、途中で渋滞どころか全く車が動きません。ひどい時には10分以上、同じ場所から進まないこともありました。呉道路の入口まで辿り着ければ何とかなるだろうと思っていると、車のナビに**呉道路通行止め**のお知らせが！その頃から携帯に避難指示メールが頻繁に入り始めました。

それから大渋滞の中を走ること4時間、やっと坂駅前まで辿り着きました。今までと違い渋滞しているのですが意外と車が進みます。これで家に帰れる！と思ったのですが、水尻駅の少し手前から車線が見えないほど道路に水が溢れています。対向車が通ると渋滞で停まっている私の車の底に『ちゃぽん』と異様な音とともに波打った水が当たり始めました。



反対車線には水没して動かなくなったのか、軽自動車数台放置されています。このままだと私の車も水に浸かりエンジンが停止して動かなくなるのでは？と怖くなりました。

しかし反対車線をたまに車が通るので、時間はかかるけど前さえ動けば呉まで帰れるだろうと希望を持っていました。

後で分かったのですが、反対車線を通る車は呉方面から来た車ではなく、諦めて坂方面へUターンした車だったのです。

前の車が動くのを待つか、安全のため引き返すべきか何度も悩みましたが、決断できないまま渋滞の列に並び続けました。

その時、前の車がUターンをしました。道路の水も徐々に増えているし、今なら前が空いているので放置車両を避けながら安全にUターンができそうです。ここでやっと帰るのを諦め、坂方面へ引き返すことに決めました。その夜は坂駅前の駐車場で人生初の車中泊を経験しました。

翌朝、どこを通れば家に帰れるか情報を集めていると、水尻駅前で土砂崩れがあり、車が半分土砂に埋まっている写真を目にしました。そこは私がUターンした場所からわずか50m先でした。あの時、前の車がUターンしていなければ引き返すきっかけも無くそのまま進み続け、私も土砂崩れに巻き込まれていたのかもしれない。

災害などで非常事態の際は正常な判断ができなくなるそうです。皆さんもこの記事きっかけに、災害時に『どうしようか？』と迷った時は一番に安全を確保できる行動を取って下さい。それが命を守ることに繋がります。

